



会 議：国際標準化機構（ISO）セキュリティ及びレジリエンス技術専門委員会（TC 292）
保護セキュリティ作業委員会（WG 6）、シドニー会合

開催場所：オーストラリア規格協会（SA）本部：オーストラリア シドニー

会議期間：2018年3月11日～16日

参加国： オブザーバーとリエゾンを含む10カ国23名

海技研からの出席者：

横井 威：環境・動力系環境影響評価研究グループ主任研究員

概要：ISO/TC292 委員会は、

- WG1（用語定義）、WG2（事業継続とレジリエンス）、WG3（危機管理）、WG4（製品及び文書類の真正性、完全性信頼性）、WG5（コミュニティーレジリエンス）及びWG6（保護セキュリティ）が同時に開催された。各WGは、それぞれの規格案を審議し、後述のとおり合意された。

主な貢献

横井は、Head of Delegations 会合およびWG6に参画し、ISO 28000シリーズの改訂に係る改訂範囲、作業工程、体制作り等の審議に貢献した。今後、横井はエキスパートとしてAd Hoc Groupに参加し、具体的な改訂作業を実施していくこととなった。



ISO/TC 292/WG6にて審議



主な審議結果

当所職員が担当した議題の主な審議結果は以下の通りである。他の事項及び審議結果の詳細については、他機関の報告を参照願いたい。

1 Head of Delegations（代表団長会合）

Head of Delegations は、事務局提案（N509）に基づき、ISO 28000 シリーズの改訂事項を審議し、改訂作業は義務的措置であることに合意した。また、改訂範囲の拡大若しくは現状維持について、各代表団長が意見を述べたが合意に至らず、新しく設立する Ad Hoc Group において審議することとなった。さらに、改訂作業は ISO 28000 より逐次に開始し、最終的にはシリーズ全体の見直しを実施することに合意した。

2 WG6（保護セキュリティ）

WG6 では、ISO 28002 の定期見直しの結果（確認：17、改訂：5）と、ISO 28003 の定期見直しの結果（確認：12、改訂：11）をレビューし、Resolution 119（エンジンバラ）に基づく ISO 28000 シリーズの改訂は、ISO/TC 8 と共同で検討しつつ改訂作業を実施することに合意した。セキュリティマネジメントについては、新規文書を作らずに ISO 28000 の改訂時にそのスコープの適応範囲を議論し、既存のマネジメントシステム規格を一つの規格に統合し、ISO/TC 292 のスコープを包含することに合意した。さらに、WG6 のロードマップ、ISO NP 22340、ISO NP 22341、ISO PWI 23110 と ISO DTS 22375 に係る審議が行われ、今後はさらなる審議を継続することに合意した。そのほか、既存のプロジェクト維持を継続するための 5 つのオプションを報告し、特段の議論はなかった。

3 ISO/TC 292 の決議

WG1~WG6 と Head of Delegations 等の審議を経て、総会では今次会合の決議を採択することに合意した。主な決議は以下のとおりである。

- Resolution 143： 議題採択
- Resolution 144： 第 4 回総会の議事録の承認
- Resolution 145： 決議委員会の任命
- Resolution 146： 報告書
- Resolution 147： 国連協力グループへの共同出席者の任命
- Resolution 148： アドホックグループの報告と解散
- Resolution 149： ISO 22384 のエキスパートの募集
- Resolution 150： ISO/TC 261 リエゾンオフィサー
- Resolution 151： リエゾン
- Resolution 152： さらなるレジリエンス研究の報告
- Resolution 153： ISO 28000 への妥当性調査に関するアドホックグループ
- Resolution 154： 今後の本会議の取り決め

4 今後の予定

次回の ISO/TC 292 は、本年 10 月 8 日～12 日にノルウェーの Stavanger で開催される予定である。